

### 3号機 グランドスチームコンバータ ドレンタンクレベルスイッチの部品破損について

平成 17 年 2 月 2 日

4号機第8回定期点検時に低圧第3給水加熱器(A)及び湿分分離加熱器第1段加熱器ドレンタンク(B-1)ドレンレベルスイッチの部品(フロート)が破損していることを確認しました。

(平成16年11月19日及び12月10日お知らせ済み)

本事象に鑑み、3号機(平成17年1月14日から第13回定期点検中)における類似計測機器の点検を実施していたところ、2月1日、グランドスチームコンバータ(※1)のドレンタンクレベルスイッチ(※2)2台において、水位検出のための部品(フロート)が破損していることを確認しました。

プラント運転中、グランドスチームコンバータのドレンタンクの水位は別の2つの計器により調整されており、問題ありませんでした。

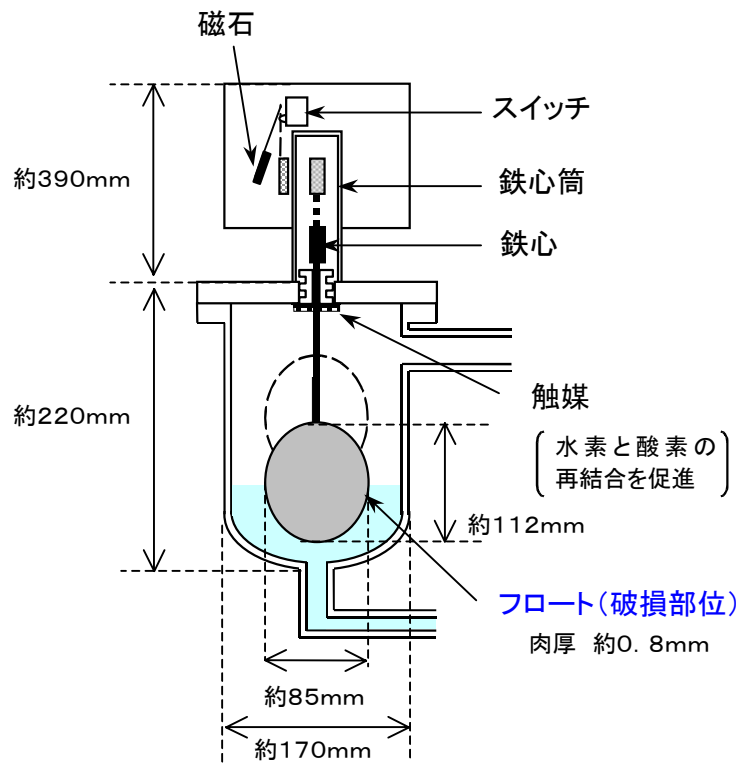
また、本事象は原子炉の安全性に影響を及ぼすものではなく、外部への放射能の影響はありません。

引き続き他の計測機器の点検を進めてまいります。

※1: グランドスチームコンバータは、タービン等のグランド部(軸封部)に供給するシール用の蒸気を発生させる装置です。シール用の蒸気は、低圧タービンから抽出した蒸気(抽気)により補給水を加熱してつくります。

※2: ドレンタンクのレベルスイッチは、ドレン(凝縮水)の水位がある設定値になると、中央制御室に警報を出す装置です。スイッチが入る仕組みは、ドレンの量が増えると、フロート(浮き)とフロートの先に取り付けられた鉄心が上昇し、磁石が引き付けられて動作します。

以上



ドレンレベルスイッチ概略図

# グランドスチームコンバータ系統概要図

